

市議会で引き続き共産党の3議席が必要ですよ



井坂しんや県会議員

市議団と連携して、公約実現に全力をつくします

市議4期16年、市民のみなさまに本当にお世話になりました。この度、みなさまのお力で県議会で働けるようになりました。市議団としてしっかり連携して、中学校完全給食の実現、米軍基地や原子力空母の母港撤回など市民の願いをしっかり受け止め県政の場で全力を尽くします。

過去最高の6議席となった県議団とともに、市議団に対しても、これまでに倍するみなさまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

横須賀でも

中学校完全給食の実施を

横須賀から井坂しんや県議員が誕生し、市民要求実現の力がグーンと大きくなりました。日本共産党は市議団の3議席を確保し、井坂県議としっかり連携して市民アンケートに寄せられた声をはじめ、みなさんの願い実現に全力をあげます。

井坂しんや県議と力を合わせ

実現します

子育て支援 中学卒業までの医療費無料化など、子育て支援を充実します

子育て3点セット（中学校給食・中卒までの医療費無料化・学童保育の保護者負担軽減）の実現に全力をつくします。市立保育園の民営化に反対し、保育園の待機児をなくします。

介護 特養ホームの増設などを、待遇改善と一体ですめます

高齢者が安心して暮らせるよう介護を充実させます。特別養護老人ホームをはじめ介護施設の増設や介護職場で働く人の待遇を抜本的に改善します。

医療 国保料・介護保険料を引き下げ、窓口負担を軽減します

保険料が高すぎて払えず滞納される方が増えています。保険制度の存続に関わる重大問題です。国庫負担を大幅に増やし保険料を引き下げます。医療費の窓口負担も軽減します。

中小業者しごと 住宅リフォーム助成の継続など、地元業者の仕事を増やします

リフォーム助成は地域の多業種でお金が回り、経済の好循環を生み出します。助成制度を継続するとともに手続きの簡素化と予算の増額を求めます。公契約条例を制定させます。

日本共産党の政策と見解を紹介します。

中学校完全給食実施状況

2013年5月総務省統計局

	神奈川	東京	千葉	埼玉	全国
実施率%	25.0	98.1	100.0	99.5	86.0

全国どこでも
当たり前

日本共産党市議団は市民の願い実現に 全力でとりくんできました

みなさんと力を合わせて

中学校給食実現への 推進力として

若いお母さん方と力を合わせ、請願の署名にもいっしょにとり組みました。議会では請願は否決されましたが、反対した議員も必要性を認めたことは運動の大きな前進です。日本共産党市議団は財源を示しながら請願に賛成討論を行い、実現に向かって全力をあげました。



小児医療小6まで無料化促進

横須賀市でも今年の10月から小児医療費が小学校6年生まで無料になります（所得制限あり）。市民のみなさんと市議団の長年の要求が実現しました。さらに、中学卒業までの無料化をめざしがんばります。

学童保育のひとり親支援

全国一保護者負担が高いことを議会で繰り返し取り上げ、負担軽減をすすめてきました。多くの議員も賛同するようになりひとり親への助成や施設補助の増額などが実現し、一歩前進。さらに指導員の待遇改善で社会保険加入や産休・育休の取得への助成など提案しています。

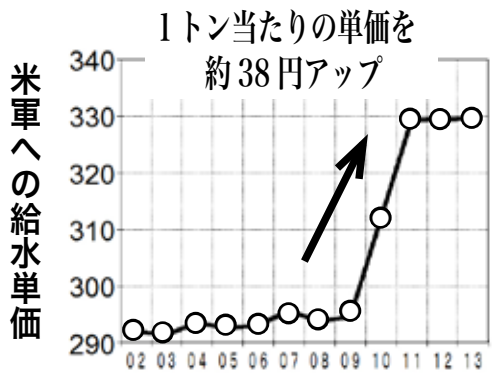
障がい者が働く場 特例子会社の誘致を推進

毎年提出している予算要望や、議会でも早くから取り上げ誘致を推進してきました。やっと2011年に誘致が実現し、喜ばれています。さらに改善に努めます。

米軍への料金の優遇を止めさせ、 年間約1億円の増収に貢献

米軍への水道料金を年額約1億円も減額サービス、26年間も続けられてきました。日本共産党市議団は毎年粘り強く追及し続け、2010年9月とうとう解消させることができました。

2011年度から給水単価が約38円アップ。米軍は年間約240万トンの水道を使用していますので、毎年約1億円の増収となっています。



宝の議席、値打ち①

財源を示し提案

日本共産党市議団は、市の貯金が県内トップであることを指摘し、中学校給食の実現など市民サービスへの活用を提案しました。

税金をため込んだ貯金は
県内でダントツ1位



横須賀市は自由に使える貯金（財政調整基金）は県内で1番です（右のグラフ参照）。県平均の2倍もありますから、半分の50〜60億円は計画的に活用できます。

宝の議席、値打ち②

チエック機能発揮

市長は、市の代表監査委員に県の不正経理の監督責任を問われて更迭された元副知事を任命すると提案。処分経歴の説明は何もありませんでした。

共産党はこの事実を示し、説明責任を厳しく求めました。市長は説明すべきだったと反省の姿勢を表明しました。

宝の議席、値打ち③

論戦力を抜群

介護保険料改定で 低所得層の負担を軽減

日本共産党市議団は、3人が毎議会で発言。この4年間で代表質問・一般質問・緊急質問が43回など、計67回も発言。下水道料金、国保、介護保険の値上げ案に対しては、他都市よりも低所得層の負担が大きいことを指摘し、改善を求めて来ました。

その結果、新年度の保険料値上げに市議団は反対しましたが、所得段階を12段階（特例含む）から16段階に増やし、低所得層の負担軽減がはかられます。

若者の命まもる

「平和の願い」

横須賀から示しそう

「戦争立法」ストップ、

憲法9条を守ります